

学校法人 大阪明星学園 平成22年度事業報告書
(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

・法人の概要

学校法人 大阪明星学園は、ローマに本部を持つカトリック・マリア会が設立母体となっている。日本には、1887年(明治20年)5名の修道士が、本部から派遣され、まず東京に暁星学園を、1891年には長崎に海星学園、1898年には大阪に明星学園を設立した。今では、札幌で光星学園も経営している。

学園設立の当初から実践されてきた、カトリックの精神に裏打ちされた教育、生徒一人ひとりの人格を尊重する教育等が本学園の建学の精神である。

1. 設立年月日

1898年(明治31年)9月1日

2. 設置する学校および学則定員数・生徒数(平成22年5月1日現在)

中学校	学則定員	生徒数	高等学校	学則定員	生徒数
	810名	854名	普通科	1,290名	1,121名

同 (平成23年3月31日現在)

中学校	学則定員	生徒数	高等学校	学則定員	生徒数
	810名	836名	普通科	1,290名	1,109名

3. 設置する学校の所在地

学校法人 大阪明星学園

〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町5-44

明星中学校、明星高等学校

4. 教職員の概要(平成22年5月1日現在 校長含む)[総計 140名]

	教諭	常勤講師	非常勤講師	計	職員	非常勤職員	計
中学校	42	0	11	53	5	1	6
高等学校	57	0	17	74	6	1	7
計	99	0	28	127	11	2	13

5. 役員概要(平成23年3月31日現在)

定員: 理事5名 監事2名

理事長 坪光正躬(学園長)

監事 藤原 忠房

理事 馬込新吉(明星中・高等学校校長)

富永 護

理事 清水一男(日本マリア会地区長)

理事 中木熊男(暁星学園)

理事 斎藤壮一(前学校長)

・事業の概要

1. 施設設備の改修に関する事項

(1) 高校情報教室の設備更新 2,182万円

(2) 中学情報教室の設備更新 1,598万円

(国庫IT補助金 1,172万円申請)

- (3) 校舎外壁補修工事 期 3,650 万円
(3年計画のうちの1年目)
(4) マリアンホール舞台照明・事務室照明LED化 355 万円

2. 高等学校等就学支援金(国)及び私立高等学校等授業料支援補助金(大阪府)の対応
高等学校等就学支援金

年収約 350 万円以上程度	単価(年額)	118,800 円
年収約 250 万円～350 万円未満程度	単価(年額)	178,200 円
年収約 250 万円未満程度	単価(年額)	237,600 円

2 学期(4 月～9 月分)、3 学期(10 月～3 月分)授業料で相殺

大阪府私立学校等授業料支援補助金

年収 350 万円未満程度の世帯の私立高校生については授業料を実質無償化する。
大阪府より支援推進校指定を受ける。
対象者に対し標準授業料 55 万円と授業料 58.8 万円の差額 3.8 万円を明星学園独自の
奨学金として支給する必要がある、授業料支援奨学金規定を創設。
平成 22 年度対象者人数 100 名 学園奨学金支出 380 万円

3. 学校評価の実施

教職員による自己評価
生徒及び保護者による学校評価
概要はホームページに掲載

4. 教職員全体研修会の実施

8 月末日に教職員全員を対象に研修会を実施。
「明星紳士を育てるために」
～ S I (スクールアイデンティティ)を維持するために～

5. 大学入試結果について

学園ホームページに掲載

6. 小鳩会(慈善活動組織)報告

会員である本校在校生からの毎月の献金と、学園祭などで保護者や一般の方々から献金していただいた資金は、緊急災害援助、海外里子教育支援、難民支援などのために送金しました。また、年末には「釜ヶ崎」の労働者の方々への支援として、お米や石けんなどを届けました。年度末には、東日本大震災義援金として募金活動を始め、各方面へ送金しました。今後とも長期的に支援を継続する予定です。
生徒たちの自主的な募金活動への参加など意欲的な面も目立つようになりました。
このような活動は、会員の隣人愛を育むことを目的に行われています。

支援先

- カリタスジャパン (中国青海地震救援)
- カリタスジャパン (東日本大震災救援)
- カリタスジャパン (クリスマス募金援助)
- 子どもの里ともの会 (こどもの里)
- ルワンダの教育を考える会 (ルワンダでの学校建設)
- ルワンダの教育を考える会 (ルワンダでの教育支援活動)
- 世界里親会(日本国際飢餓対策機構) (里子 2 名の継続支援)
- 円プリオ基金センター (赤ちゃん育成支援)
- 京都聖嬰会 (児童養護施設援助)
- 日本赤十字社 (東日本大震災義援金)

日本赤十字社（ニュージーランド地震支援金）
チェンマイマニア（タイ北部チェンマイ、古着支援）
釜ヶ崎勝ちとる会（お米の支援、米と石けん）
小鳩会収支 収入合計 1,805,159 円 支出合計 1,805,159 円

財務の概要

1. 収入の部について

学生生徒納付金、手数料収入は前年に比べ減少。

補助金収入は前年に比べ減少。経常費補助金削減のため。

PC教室改修に伴うIT補助金を含む。

寄付金収入、資産運用収入は前年に比べ増加。

雑収入は退職金財団交付金の増加。退職金の増加のため。

その他の収入は退職給与引当特定資産と減価償却特定資産から繰入のため増加。

帰属収入合計は前年に比べ増加。生徒納付金、手数料収入、補助金等で減少したが、寄付金、雑収入等が増加したため。

2. 支出の部について

人件費の増加は退職者(6名)増のため。

経費は前年に比べ増加。

・ 修繕費は校舎外壁改修第1期工事。改修工事は3年を予定。

・ 減価償却費は前年に比べ増加。

○ 施設関係支出はマリアンホール舞台と事務室のLED照明等。

○ 設備関係支出は高校パソコン教室、中学パソコン教室の整備。

○ 資産運用支出として減価償却引当特定資産と施設拡充特定資産へ繰入支出。

○ 次年度繰越資金は前年に比べ減少。

内訳は現金・普通預金、定期預金、MMF（注：短期公社債投資）等

消費収支合計は前年に比べ増加。人件費と経費の増加による。

基本金取崩額は中学・高校パソコン教室の古いパソコンの廃棄に伴う取崩。